番号

悪性新生物

疾病名

頭蓋内胚細胞腫瘍

# 頭蓋内胚細胞腫瘍

ずがいないはいさいぼうしゅよう

### 概要・定義

頭蓋内胚細胞腫瘍(germ cell tumors, GCT)は、松果体部や鞍上部に発 症する様々な腫瘍から構成される多様な病変である。頭蓋内胚細胞腫瘍 は2007年のWHOの病理学的分類では次の6型に分類される。

- ① ジャーミノーマ (胚腫) (germinoma)
- ② 胎児性癌(embryonal carcinoma)
- ③ 卵黄嚢腫瘍(yolk sac tumor)
- ④ 絨毛癌(choriocarcinoma)
- ⑤ 奇形腫(teratoma) (成熟奇形腫 mature teratoma/未成熟奇形腫 immature teratoma/悪性転化を伴う奇形腫 teratoma with malignant transforamtion)
- ⑥ 混合性胚細胞腫瘍(mixed germ cell tumors)

混合性腫瘍は、腫瘍内に上記の①~⑤の腫瘍が2種類以上混在し て認められるものである。

頭蓋外にも病理組織の類似した腫瘍を認めるが、発症部位の違いから 頭蓋外の腫瘍とは異なった診断・治療方法がとられ、予後も異なる。

## 症状

腫瘍の発症部位により異なった症状が出現する。

下垂体機能低下を認めることが多く、鞍上部腫瘍では60~90%の患者 で尿崩症を発症する。

松果体部腫瘍では、画像上鞍上部の病変を認めなくても尿崩症を発症 していることがある。

鞍上部腫瘍では視機能低下、成長ホルモン欠乏、思春期早発を認める ことがある。

松果体部腫瘍では、中脳水道を閉塞し、水頭症をきたし、頭痛・嘔吐、 意識障害などの症状を呈する。

更に、蓋板を圧迫してパリノーParinaud 症候群(輻輳反射麻痺による偽 Argyll-Robertson 瞳孔または対光反射の減退を伴う両側性上方注視麻痺) を呈する。

基底核腫瘍では、大脳高次機能の低下、錐体路障害による片麻痺、知 的機能の障害などを生じる。

頭蓋内圧亢進症状、視機能障害を初発症状とする場合には診断までの 時間が短いが、食思不振、精神症状、行動異常、夜尿症などの非特異的 症状で発症する場合、診断まで時間がかかることが多い。

### 治療

組織型により予後が異なり、異なった治療方法がとられる。欧米では、ジャーミノーマと、それ以外の腫瘍(non-germinomatous germ cell tumor:NGGCT)に分けて治療を行なうものが多いが、我が国では組織型や腫瘍マーカー所見から、3つのリスク群に分けて治療が行なわれる場合が多い。

診断方法からリスク分類、治療方法ま国内でも国際的にも議論が多く、 また治療方法にも大きな差がある。

国際的共同研究のために、国際的なコンセンサスを形成しようとする動きがある。

#### 1) 手術:

治療方針の確定のためには、組織診断の確定が必要である。 初回手術では、ジャーミノーマでは、後療法の効果から摘出の必要はないとされ、他の悪性胚細胞腫でも、初回手術での摘出の有用性は示されておらず、腫瘍の生検が目的とされる。

近年は、定位生検、神経内視鏡下生検が行なわれ、これらが困難 な場合に開頭腫瘍生検が行なわれる場合が多い。

いずれの方法で腫瘍組織を得た場合でも、混合性胚細胞腫などでは、腫瘍検体が全体を反映しない場合があり、治療開始後に、治療に対する反応が、診断に適合したものかどうか注意し、診断を検討する必要がある。

#### 2) ジャーミノーマ:

放射線に対する感受性が高く、化学療法に対する感受性も高い。 放射線単独治療によって高い生存率が達成されるが、その合併症 の問題から、近年は照射線量を減量し、照射野を小さくする試み が行なわれている。

多くの腫瘍が化学療法によって完全寛解となるが、化学療法単独 治療の臨床試験では、再発がいずれも 50%~60%と高いため、化 学療法単独では不十分であると考えられている。

このため、放射線治療と化学療法を併用し、放射線治療を軽減する治療が主流となっている。

### 3) ジャーミノーマ以外の胚細胞腫瘍:

胎児性癌、卵黄嚢腫瘍、絨毛癌、あるいはこれらを含む悪性混合性胚細胞腫は予後不良であり、転移を起こしやすい。

全脳脊髄照射を含む放射線単独治療では、治療反応は良好であるが、多くは18ヶ月以内に再発し、生存率は20-45%であり不十分と考えられている。

一方、化学療法単独の臨床試験も再発が多く不十分である。

生存率の向上のために、化学療法・放射線治療併用治療が主流となっているが、放射線治療の照射野、線量、化学療法の内容については臨床試験によって大きく異なり、最適な治療方法が確立されたとはいえない。

友粋元:http://www.shouman.jp/details/1_6_90.html					